

「小さな親切」運動鹿児島県本部賞

言葉

鹿児島実業高等学校 一年

山口 真由

私の母は、いつも明るく笑顔で、とても頼りになる、そんな人だ。だから何かあつて気持ちが悪くても、母の顔を見ればほっとして少しかだけ前向きになれる。そんな母と出会ってくれた私の父は、私が4歳の時に天国へと旅立った。顔に性格、私の好きなものや嫌いなものまで私にそっくりな、おだやかな人だった。

母がたまに、私にこんなことを言う。

「真由を見てると、お父さんがここにいたいみたい。」

「真由がいてくれて本当に良かった。」

こんな性格の母だからこそ、面と向かって直球に言えるのかもしれない。でも私はそれを聞いて

笑うだけで、まだ一度も

「お母さんの子どもに生まれて良かった。」

と、言えたことがない。素直になれない。

辛い時背中を押してくれたたり、進路を直前で私立に変えても優しく受けとめてくれた母。そんなあなたに、いつか自分の言葉で感謝を伝えられる日が来ますように。いつも本当にありがとう。



私の誇り

鹿児島実業高等学校 二年

藤崎 結生

私の家は母子家庭である。時々、話題で

自分たちの父の話になることがある。そこで、

「〇〇ちゃんのお父さんはどんな人？」と話を振られるときが一番困る。「私、お父さんいないんだ。」

とか言ったらきつとみんな困ってしまうだろう。

だから私は「優しいよ。」と空想の父をみんなに

語る。

ある日、私は母に「どうして私にはお父さんがいないの？」

と決して言っはいけないであろう言葉を投げかけて

しまった。すると、母は自らを指差し「ここにいないじゃん。」

と笑顔で返した。その言葉を聞いたとき私は

ものすごく恥ずかしくなった。そう、母は母親でもあり、

父親でもある。優しい一面もあれば、厳しく突き放すような

ときもある。母とか父とか関係なく一人の親として

私のことを一番に思ってくれている。

だから父がいないことなんて恥ずかしいことじゃない。

私を一生懸命育ててくれた母に誇りをもち、

母にこう伝えたい。「お母さんいつもありがとう。」



一 般

上野 弘子(伊佐市)

私の娘は、四十五才で難病を患い、昨年暮、四十九才の若さで一人息子を残して旅立ちました。

母子二人の厳しい生活の中で、孫を大学にも通わせ、就職も決まり、やっとこれからという時です。

私が弱い体に産んだのか。私の何が悪くて、何が足りなかったのか悔やむばかりでした。

「これでお母さんは、楽に成ったんだよ。もう苦しまずに済むんだよ」

逆に孫から諭され、そうか、幼い子を残して災害にあわれた

方の事を思えば、我が子の成長を見届けて逝けたんだ、

そう想える様に成りました。

半年が過ぎ初盆を前にして、色んな事が思い起こされます。

まだまだ、涙ぐむ日々ではありませんが

「たくさん頑張ってくれて、“ありがとう”」「たくさん思い出を残してくれて“ありがとう”」

心からの感謝を伝えたいです。今は亡き娘へ。



優秀賞

亡き先生からの言葉

鹿児島実業高等学校 二年

田畑 優空

私は三才の頃から新体操をしていて高校でも新体操を続けている。

十三年間続けてきている新体操だが、私の中で嬉しいことや楽しいことや楽しいことよりも、辛いことや苦しいことの方が多かったと思う。それでも、今でも続けているのはいくつかの理由はあるが一番の大きな理由となったのは今は亡き先生からの言葉があったからだ。

私は中学一年の後半から中学三年終わるまでの二年以上いくつものケガが重なり練習は、全く、できなくなっただただ一日一日が過ぎていってしまいう苦しう、つらい日々を過ごしていた。

その二年以上の日々の中で一度だけ、高校生の九州総体を見に行くことができた。

私はそれを見た時自分もこの舞台に立って輝きたいと強く思った。

その帰りの車の中で、今は亡き先生から、こう言われた。

「私は、あなたを一番に応援している！信じているからね」と。
ケガして全くなにもできていなかった私に先生はこの言葉を残してくれた。

その何年後かに先生は亡くなってしまった。

大きな舞台に立って絶対に先生に見せるんだ、と私は決めていたのにケガが治らず恩返しが出来なかった。

だから、高校でも続けて大きな舞台に立ち先生へ気持ちを伝えようと思う。

私はこの経験をして、日頃から感謝の気持ちを忘れてはいけないなと思っった。辛い時も苦しいことも沢山あると思うがこの言葉を心に残して頑張っていこうと思う。

そして、その時伝えられなかったが、こう伝えたい。

「先生ありがとうございます。絶対に輝いてみせます。」



チームを支えてくれてありがとう

鹿児島実業高等学校 二年

松山 絢香

いつもチームのために動いてくれてありがとう。私達の自慢のマナージャーです。怪我をした時や体調が悪くなった時につきにかかけつけてきてくれて本当に助かっています。練習メニューの記録や試合の結果もしっかりメモをしてくれて、こんなにも素晴らしいマナージャーがいてくれて嬉しいです。プレイヤーが一番に気にかけてくれたり、相談にもものつてくれてとてもかっこいいです。勉強もできて周りのことが良くみえていて外練の日是一緒にメニューをしていて、欠けているところがないのではないかと思います。完璧すぎて尊敬するところもたくさんあります。たまに抜けている所もあっていつも部活をなごませてくれるのもいい所です。本当にあなたがマナージャーになってくれて良かったと心から思っています。まだまだ私達プレイヤーは上手ではありません。マナージャーがチームを支えてあげている分を私達は表彰台へ上がるという目標達成で恩返しをしたいです。これからもこんな私達ですが、これまで通りに部活を支えてくれる。たらとても嬉しいです。本当にマナージャーになってくれてありがとう。私達にとって大切なメンバーです。いつもありがとう。そしてこれからもよろしくお願いします。



18歳の女の子との出会い

鹿児島実業高等学校 二年

白石 光里

私は十五歳のとき、初めて道案内をした。声をかけてきたのはアメリカからきた十八歳の女の子だった。一人で日本まできて、勇気をふりしぼり、「Excuse me?」と声をかけてくれた彼女の力になりたいと思った。どこへ行くのか聞くと、「天文館に行きたい」と言われ、どうするべきか迷った私は一緒に行くことにした。最初は緊張していたが、彼女と色々な話をするうちに、笑顔も増え、とても楽しい時間となった。別れ際、彼女は「アリガトウ。Thank you!」と言ってくれた。私は、英語を使いこなせず、日本語で「どういたしまして」と答えたが、彼女は、笑顔で手を振ってくれた。とても幸せな気分になった。彼女は私に国籍関係なく親切にする大切さと、海外の人とのコミュニケーションがとても楽しいことを教えてくれた。今では、初めての道案内が彼女で本当に良かったと思っている。あの日、たくさんの方がいる中で、私に声をかけてくれてありがとう。

Thank You

大切な家族

鹿児島実業高等学校 二年

山口 怜杏

今、一番感謝を伝えたい人達がいる。それは、わけあって一緒に住んでいるおばの家族と祖母だ。中三の秋から一緒に住んでくれると言ってくれた大切な家族。行きたい高校もなりたい夢もなかった私。毎日進路をどうしようか悩んでいた。そんな時に、「行きたい所に行ったらいいよ」と言ってくれたのだった。住む場所も相談する相手も私をとり巻く環境に大きな変化があった時。その言葉は私の不安な気持ちを和らげてくれた。

中学校の卒業を控えたある日、親からの手紙を読む時間があった。手紙を書いてくれたのは祖母で、授業中にも関わらず泣いてしまった。

「辛いこともあるかもしれないけど、一緒に頑張っていこう。」

私の存在意義と居場所をくれた、そんな言葉だった。

一緒に住み始めて、はや二年。毎日が充実しているのは本当に家族のおかげだと思っている。いつも陰ながら支えてくれていた祖母。悩みをしっかりと受け止めて、私がやりたい事を出来るようにサポートしてくれるおじ。同じ趣味をもって、毎日くだらないことで笑いあって、私が伝えたいことを理解してくれるおば。本当の父と母のような存在の二人と祖母のおかげで今の私があると思っている。中学三年生のあの日から周りの人は「大変だね」なんて言うけれど、そんな事は思わない。感謝しかないのだ。

ありがとうじゃ足りないけど私が出来る精一杯の感謝。いつも本当にありがとう。

感謝



いっぱいありがとう。

鹿児島県立徳之島高等学校 一年

平 一愛

中学校のとき、私の大切な友達が私のアレルギーが原因でいじめられていた。

その友達の様子がおかしいなっていうのは気づいていたものの、自分が原因でいじめられているとは知らなかった。私が「どうしたの？」ってきいても絶対教えてくれなかった。だから、私はおもいきって先生にきいてみた。先生は、言うのを拒んだが私が必死に頼みこんだので、仕方なく教えてくれた。

「その子は、あなたのアレルギーが原因でいじめられて、それをあなたが知ったらあなたが傷つくからってかくしているんだよ」と。

それをきいたとき、私は先生と一緒に泣いてしまった。何も気づくことのできなかった自分はずかしくて、悔しくて、その友達に「ごめんね」って気持ちでいっぱいだった。

それから、二年たった今でも感謝の気持ちを伝えられない。

いついえるのか分からないけどちゃんと伝えたい。

「あの時は、本当にごめんね。」

傷つかないように守ってくれてありがとう。

今、笑って過ごしてくれてありがとう。」

ありがとう
ございました

目に見えない優しさが現れた瞬間

鹿児島実業高等学校 二年

阿部 愛里

たくさんの人が持っている「目に見えない優しさ。」
高校に入り登下校でJRやバスを使う中、私はさらにたくさんの優しさに触れました。

その日は三者面談のためいつもは乗らない時間帯にバスを利用しなければならぬことになっていました。一年生の後半でいつも部活の際に使うバスということもあり私は自信を持って普段通りバスに乗り込みました。数分後、ふと窓の外を見た瞬間、今までに感じたことのないくらい鳥肌が立ちました。まったく覚えのない道を走っていたのです。バスが信号機で止まるのを待ち、すぐさまバスの運転手さんに高校とはまったく違う方向に向かっていること、どのバスに乗れば高校まで行けるかをたずねました。席に戻り一人不安に押しつぶされそうになる私に気づいたのか隣に座っていたおばさん、さらには斜め前に座っていたおじさんが声を掛けてくれました。なにげない気持ちで声をかけてくれたのかもしれませんが、その優しさはその時の私にとって大きな安心感をあたえてくれました。さらにそれは「目に見えない優しさ。」が現れた瞬間でした。

「誰かに優しくする」時にそれは勇気のいることかもしれません。しかし時に優しさは相手に安心感、喜びをあたえてくれます。私はこの出来事をきに誰にでも平等に優しくできる人になりたいと思いました。



伝えられなかった「ありがとう」

鹿児島実業高等学校 二年

山口 紗奈

「ありがとう」私はこのたった5文字の言葉を大好きな祖母に伝えられなかった。

私が幼い頃、共働きで忙しい両親の代わりに祖母が

私の世話をしてくれた。私は祖母がよく作ってくれる大学芋が

大好きだった。しかし、ある夜、祖母が倒れた。以前のような会話は

できなくなり、記憶もあいまいで介護が必要な状態になって

しまった。それから、約6年間祖母の介護をする母と一緒にできる

ことをした。どんなに汚いことでも、私にはそれが普通であたりまえ

だった。頑張っていた祖母も1年前に息をひきとった。7月の夏休みに

入ったばかりの日、突然だった。あまりにも辛く、泣いた日が続いた。

そんなとき、祖母の知人がたずねてきた。その知人は、祖母が生前

知人に話していたことを教えてくれた。祖母は私が汚い

ことでもしてくれることに感謝しなくて話していたらしい。

私は初めて聞いた祖母の気持ちに涙が溢れた。あたりまえ

のようにしていたことに感謝してもらえたのはすごく嬉しかった。

だけど、私は祖母にもらったたくさんのことにありがとうを伝え

られていなかったことに気づいた。思っているだけではなく言葉に

して伝えられないといけない。私はこのことを通して、ありがとうと

思ったそのときに伝える努力をしている。「ありがとう」をしつかり

伝えるために。



鎮守 美和（鹿児島市）

私には四つ下の妹がいます。

幼稚園生だった頃に、私は姉になりました。

家や公園、旅行先、どこに居る時でも私の後ろをついてきてくれる可愛い妹。

時にはけんかをしてお互い大泣きしたり、大好きなアイドルの話で大盛り上がりしたり。悩んだ時にはぎゅっと抱き締めて一緒に考えてくれました。

二十歳になるまで何度、「この子が私の妹として産まれてきてくれて良かった」と思ったか数え切れません。

突然大きな病気にかかったと知っても、いつも通り泣いて笑ってくれるあなたに、私は生きる力をもらっています。

必ず元気になって、一緒に家に帰ろうね。生まれてきてくれてありがとう。大好きです。

